

調査結果の概要

■ 成果

【情報の収集・整理】

- 各地域事業で必要となる気候指標を収集・整理し、本事業で活用可能な気候シナリオを選定

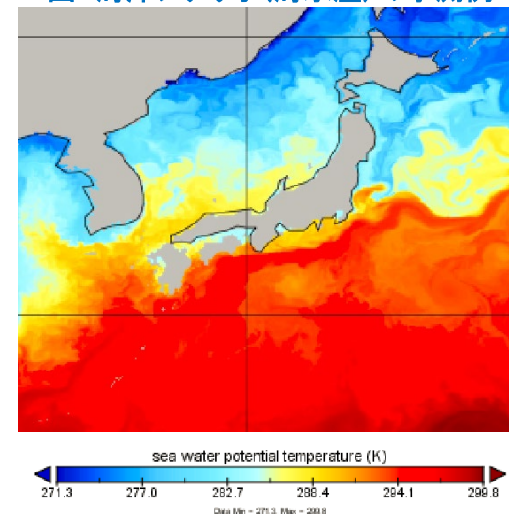
【気候シナリオの収集・配布・バイアス補正】

- 提供元等との利用に関する調整等を経てシナリオを入手し、各地域事業に配布（下表参照）
- 必要に応じて1kmメッシュへのダウンスケール及びバイアス補正を実施（下表参照）

表 収集およびバイアス補正等した気候シナリオ

配布時期	気候シナリオ	種別
2018/5	力学的ダウンスケーリングデータ: ・温暖化予測情報第9巻 ・気象研究所2km力学的DSデータ	本番用データ
2018/7	力学的ダウンスケーリングデータ: ・SI-CAT大気近未来予測力学的ダウンスケーリングデータ	本番用データ
2018/8	統計的ダウンスケールデータ: ・農環研データセット	本番用データ
2018/9~10	バイアス補正データ(降水、気温、日射、風速、相対湿度): ・温暖化予測情報第9巻 ・気象研究所2km力学的DSデータ ・SI-CAT大気近未来予測力学的ダウンスケーリングデータ	本番用データ
2018/11	海洋近未来予測力学的ダウンスケーリングデータ	本番用データ
2019/4	追加の気候シナリオ: ・SI-CAT大気近未来予測力学的ダウンスケーリングデータ 追加アンサンブル ・海洋近未来予測力学的ダウンスケーリングデータ RCP2.6 (2086-2100年)	本番用データ
2019/5	リバイス版: ・農環研データセット by SI-CAT	本番用データ
2019/8	追加の気候シナリオ: ・NIES統計DSデータ	本番用データ

図 海洋シナリオ(海水温)の予測例



出典: JAMSTECから提供された海洋シナリオデータをもとにみずほ情報総研作成